

教職大学院 NEWS



三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻

第10号 H30.6月発行

教職大学院へ入学して……（2期生の声）

2期生16名が三重大学教職大学院に入学して約2か月が過ぎました。新しい環境にも慣れ、授業では活発な意見交換が行われるなど、皆で高め合おうという雰囲気が感じられます。今回は、2期生の皆さんの「教職大学院に入学しての感想」を紹介します。

【学校経営力開発コース（現職教員学生）】

○講義内容はもちろんのこと、先生方や院生どうしの対話からも新たな教育課題が見え、毎日いい刺激を受けながら過ごしています。現在は「学術的な理論」の理解についていくのが精一杯ですが、豊富な図書論文資料、研究発表の実践、授業研究等に触れながら、「高度な専門性」を身につけるため、これからも研鑽を積んでいきたいと考えています。

○授業において様々な理論を学び、すっきりすることが多くあります。もやもや感が残る場合には、先生方が熱心につきあってくださいます。また、授業にはグループ討議が多く用いられ、仲間の意見をもとに自分の考え方を見つめ直し、深く広げていくことができます。学ぶことの楽しさを感じる毎日です。

○毎日積極的に学ぶことができ嬉しです。授業では理論・考え方・学び方を学ぶことができ、充実した時間を過ごさせてもらっています。またグループでの交流・発表・振り返りを書くこと・本を読むことも多く、自分の苦手意識をなくせるようにがんばりたいです。他の院生の積極的な行動と勤勉さにはいつも刺激を受け、自分もがんばらなくてはと思わせてくれます。一日一日を大切に、成長していきたいです。

○時間に追われながら、ゆったりと学べます。講義をうけるたびに課題や研究したいことなどが次々とわいてきて、時間が足りません。現場ではたくさんの事態が同時多発的に発生するためどうしてもまとまった時間をとることが出来ません。しかしここでは学ぶ環境が整っており、集中して学びを進めていくことが出来ます。学ぶ内容も仲間もみな一所懸命なので、良い刺激を毎日受けています。毎日毎日が充実しています。

○教育に関わるさまざまな理論を授業で学んだり、仲間と学んだりする中で、知っているつもりだった自分に気づけた二か月でした。学校現場にいる時にはできなかったこと、例えば、課題に対して時間をかけて深く考えることや、遠方の学校への公開授業への参加などを通して、教師としての自分を振り返りながら、考え続けています。今、与えられているこの時間を大切に、これからも学び続けていきたいと思っております。

○研究に没頭するものかと思いきや、授業が充実しており、教育史、トフラー、プレゼンの仕方など、ここに来なければ学ばなかったことも多いです。自分にぴったりの本を紹介してくれる本ソムリエもいます。学部新卒から現職教員までと年齢層も幅広く、一種の家族のような感じです。学生時代とは違い、ゆったりした中で学び合う環境が心地よいです。

○授業では体系的な教育の理論や教育の歴史の流れなど、忙しい現場では知り得なかったことを多く学んでいます。どの授業も私たち学習者が主体となって学ぶことが大切にされているので、自ら探求する力や聞き手にわかりやすく伝える力も身に付けることができると思っています。同期の現職の先生方やストレートマスターの方に助けられながら、明るい雰囲気の中で毎日学ぶことができます。

○入学してはや2か月ですが、毎日、寸暇を惜しんで学び、体験し、仲間と討論し、図書館で書籍を読み、様々な方々と出会い・・・と怒涛の日々を過ごしています。現場を離れたらゆっくりするのかなと思っていましたが、私のこれは性分なのか、そんなことは全然ないです。朝から晩まで走り回っていて日がたつのがたいへん早い気がします。しかしそれは、充実感の裏返しなのだと思います。もちろん義務感のない主体的な学びであり、学ぶ喜びを感じる日々です。ここで学んだことをいかに学校現場や地域に活かすのか、それをいつも考えながら、真剣に誠実に学ばせていただいています。ありがとうございます。

○楽しい時は早く過ぎていくもので、気がつくと二か月がたちました。現場を離れることの寂しさを感じながらも、次から次へと出会う新しい学びや目の前の課題の山々に格闘していくことで、あっという間に時間が過ぎていきました。文献を読み解いていく喜びや答えのない課題に対して議論していくこと、なによりも共に語らう仲間がいることの楽しさなど、教職大学院で学ぼうと決意したことは大正解だったと感じています。

○教職大学院で毎日のように教育のことについて考え、議論しています。私のこれまでの実践をもとに話をすることで、自分を振り返ることもできます。さらに、周りの現職教員の先生の意見は然ることながら、学部新卒生の考えからも多くの学びがあり、私自身の経験値がどんどんたまっていく感じがして、今なら学校で校内研修の講師くらいはできそうな気持ちになっています。今後も私自身の学修テーマを明確にし、皆さんの役に立つものにしていくため、研修を進めていきたいと思っています。



【教育実践力開発コース（学部卒生）】

○授業は、グループ学習がとて多く毎日毎日楽しいです。内容が難しいこともありますが、助けてくれる仲間も多く助かっています。また、現職教員の先生方がいらっしゃることで普段は聞くことができないアドバイスをいただいたり、仲良くお話ししていただいたりと勉強になっています。授業の中でプレゼンや課題が多く、その準備に時間を取られることもありますが、現職の先生や同じストレートマスターの仲間たちの発表の完成度が高く、自分も引っぱられています。

○教職大学院では、教育に関する話が活発に飛び交う環境で、毎回の院生同士の交流から自分の視野が大きく広がる感覚をたくさん味わっています。新卒生同士の仲はとて良く、勉強においても食事においても、気づいたら6人全員が集まっているような感じで、毎日楽しく行動を共にしています。

○二か月はあっという間でした。課題は噂通りに大変で頭を悩ますものばかりですが…。とはいえ、講義や課題をこなしていくうちに、自分の学びを実感でき、大満足です。また、内容面では、学部生の頃には考えもしなかったことを再検討し、現職の先生方と学び合うことで現場と照らし合いながら考えることができ、考える幅も広がっていきます。「入学して良かった」と思うことのできる日々の連続です。

○とて忙しく楽しく毎日をごさせてもらっています。授業は、一つ一つが独立しているのではなく、それぞれが結びついているため、とて勉強になります。また、ともに学ぶ仲間と意見を交換する機会が多いので、視野の広い考えで様々な問題や課題に直面できるのが、この教職大学院の良いところだと思っています。

○毎日研究や課題などで忙しくも充実した日々を送っています。始めは通学や課題が大変だと思っていました。しかし、毎日の生活スタイルが確立してきたので、次第に慣れてきたと思います。またこの2ヶ月で学び合う仲間の特徴や性格も分かってきたと思います。教職大学院は現職の先生方や学部新卒生関係なく共に学び合う場で、現場に出ない人の考えと現場に出ている人の考え方の違いを知ったり、実際に学校現場で起こった問題にどう対処したか、気軽に質問できるという所も魅力的だと思います。まだ大学院に入学して2ヶ月しか経っていませんが、広く深く学ぶことができている。この環境に感謝し、これからも学び続けて行きます。

○私にとっての教職大学院の魅力は教授、現職の先生、学部卒生の教職に対する多様な価値観・経験を知ることができることです。授業や課題に取り組む意識の高さが好きです。歳の差関係なくアットホームな雰囲気があるとこも好きです。夕方からは教員採用試験の勉強に励み、毎日充実しています。



教職大学院 平成31年度入学者選抜日程

昨年度までと入試の日程が変わっています！

	【A日程】 平成30(2018)年 8月17日(金)	【B日程】 平成30(2018)年 11月18日(日)	【C日程】 平成31(2019)年 2月14日(木)
学校経営力開発コース	第一次	(第二次)	
教育実践力開発コース		第一次	(第二次)

※両コースともに、第二次募集は、第一次募集で募集人数を満たさなかった場合のみ実施します。

※各コースにおいて、第二次募集を実施する場合、本学のホームページなどでお知らせします。

A日程（現職教員対象）の出願期間が迫っています！

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻（教職大学院）広報担当

☎ 059-231-9319（学務担当）

〒 514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

URL <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp>（教職大学院専用 HP）

✉ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp